

かすりが できるまで



- ①種糸とり:御絵図帳や他の図案を参考に、かすりのデザインをする
- ②かすりくり:1でデザインした内容に従い、染めたくない部分を紐でくる
- ③染色:琉球藍や草木、染料を使って糸を染める
- ④のりづけ:作業中に糸が絡まないように糸のコーティングをする
- ⑤巻取り:よこ糸の地糸(模様が付いていない糸)と緋糸(模様が付いている糸)を巻き上げる
- ⑥そうこう掛け:巻き終えたよこ糸を左側から順序よくすくい、織機にセットする準備をする
- ⑦制織:木製高機を使って、かすり柄を合わせながら織る
- ⑧製品検査:できあがった生地をベテランの検査員がチェックし、合格後に商品として出荷する

「後継者育成事業」3名の研修生に聞いてみました！ 3つの質問

琉球かすり会館 (本部157番地)

かすり会館が設立した昭和55年から「後継者育成事業」を実施。町外や県外・海外からの移住者も参加することができる開かれた学び場となっているため、県外や海外からの参加者もいるほど人気な事業となっています。

いしはら なたり 石原 名太史さん

- ①日本人の母が着付けの先生をしていたため、小さな頃から着物に興味がありました。織物を学ぶために2年前パリから沖縄へ移り住んできましたが、首里では海外移住者の私は学ぶことができませんでした。諦めたくない思いから他の方法を探している中で、南風原の「後継者育成事業」を知り、参加を決めました。
- ②手織りで丁寧にひとつひとつ作るの、同じものがないところがかすりの魅力です。
- ③今は大量生産の時代で、安く服が買え、若い人はみんな同じ物を持っていることが多くなってきました。だからこそ、てま・ひまかかった伝統工芸品に価値を見出して貰えるような作り手になりたいです。世界に発信できるかすりにしたいと思っています。



かのう まいこ 加納 真生子さん

- ①元々ファッションに興味があったため、県外の大学卒業後、服飾の専門学校に入学しました。在学中に沖縄に貢献したい気持ちで大きく、沖縄のことを学ぶ中でかすりに出会い研修を受けることにしました。
- ②かすりの魅力は多くの職人の思いが一つになるところです。
- ③強い信頼関係がないと作れないかすりの魅力を若い人に伝えたいという作り手になりたいです。



沖縄県伝統工芸振興センター (照屋213番地)

昭和49年4月に設立された歴史ある県の施設で、ここでは工芸産業の発展を目的に人材育成・技術支援・試験研究等を行っています。かすり会館の「後継者育成事業」を修了後、自身のスキルアップのために参加する人も多いそうです。

たきもと ともこ 瀧本 朋子さん

- ①沖縄の織物に惚れて東京から移住してきました。かすり会館の「後継者育成事業」の研修生として織りの技術を学び、修了後2年間工房で織子として働きました。現在は自身のスキルアップのため、工芸振興センターの研修を受けています。
- ②手作業で柄を合わせていくため、時間はかかりますが同じ柄ができないところがかすりの魅力です。
- ③手間を惜しまず、きちんとした仕事を毎日こつこつ積み重ねることで、人から愛される作品をうみだせる作り手になりたいです。



豆知識:南風原花織

琉球かすりは、糸を染め分けて絵柄を作るのに対し、南風原花織は、綜紵(そうこう)という糸を浮き沈みさせる織機の仕掛けを工夫することで、絵柄を作ります。そのため、生地がデコボコしているのが特徴です。南風原花織は4つの種類があります(南風原両面浮花織・クワンクワン花織・チップガサー・南風原斜文織)



作り手を育てる

かすりの最盛期だった昭和五十年から従事している職人も今では八十歳…。職人の高齢化に伴い、後継者の育成が課題になっています。その現状を打破するために取り組まれている、作り手を育てる活動を紹介いたします。



特集

かすりロード

あなたが思うかすりのイメージって何ですか？
「高い」「手入れがしにくい」「若い人が着るイメージがない」
若い世代に聞いたら多く返ってくる答えは、この3つ。
十一月三日は「かすりの日」。
あなたは本当のかすりの魅力を知っていますか？

かすりつてなに??

沖縄で織られている織物の総称を「琉球かすり」といいます。南風原町は、他市町村と比べ生産量が多いため、近年では南風原町を中心に織られるかすりのことを指すようになりました。昭和五十二年には「琉球かすりの里」宣言がされました。

2つの特徴

かすりの特徴①使う柄が決まっている

かすりの柄にはデザイン集があり、それを見て生地デザインのしていきます。デザイン集は「御絵図帳(みえずちょう)」と呼ばれていて、琉球王朝時代に作成されたと言われています。植物や動物、水やお金など、沖縄の身の回りの物で柄のデザインをしており、柄は600種類あるといわれています。面白い柄のひとつとして「トリー」豚のエサ箱があります。琉球王朝時代、一般の人からもデザインの募集をしていたため、このような柄が生まれたのではないかとされています。

かすりの特徴②分業制

沖縄は織物の中でも唯一手織りが残っている地域で、その中でも南風原町は、織り上げるまでの工程を分業で行っているのが特徴です。これは戦前、かすりの生産量を上げるために取り入れられた効率的な手法で、昭和五十年の最盛期には年間6万反ものかすりが生産されました。それぞれのプロが一つの行程のみを行うため、南風原町のかすりはとても高品質で、他生産地に比べ生産量が多いことで有名です。

柄の紹介 あなたはいくつ知ってますか??



トウイグワー

2羽で飛ぶ鳥を表現した文様。琉球かすりの中で最も多く用いられる柄です。



ビククー

ベッコウをあしらった吉祥文様。長寿祈願の思いが込められています。



イチチマルグモ

5つの丸い雲を表現した文様。琉球かすりの代表的な柄のひとつです。



ジュウサンムチリー

たてかすりとはよこかすりの重なりで夜空の群星を表現しています。